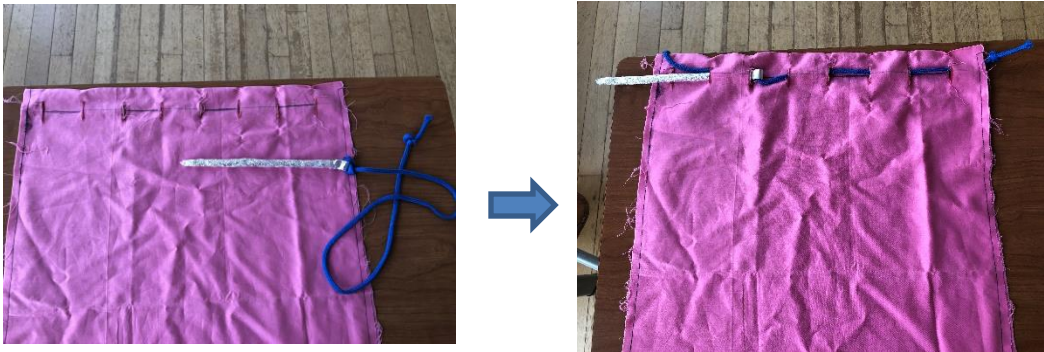


[つくば特別支援学校教材教具シート]

教材	手と目の協応トレーニング（初めての並縫い）
写真	
対象	A部門中学部1年生徒
目的・効果	職業家庭で初めて並縫いを行う際に、針が怖くてできない生徒、イメージがつかめない生徒、思った穴に針を通せない生徒が多くいた。そこで自立活動の中で、模擬の針、糸、布を使って、手と目の協応を図るとともに、並縫いのイメージをつかめるようにした。この教材であれば、怖がらずにできたり、イメージをつかめたりするようになり、本物の針と糸でも並縫いをすることができるようになった。
使い方	針（中身はボールペンにアルミホイルを巻いたもの）に糸（ロープ）を通し、あらかじめ、穴をあけてある布に通していく、できるようになったら玉止めや玉結びも練習する。